

# 開聞岳・韓国岳・阿蘇山

記 T村M

2023/11/03(金)～11/05(日)

メンバー: T村M、T村E、T山、他1

## 2023/11/03(金) 晴れ

朝 6:40 羽田空港発。3連休ということで飛行機は満席。3連休の天気は良い予報。3日間の山行が楽しみだ。

8:25 鹿児島空港へ到着。予約していたレンタカーで1日目の目的地開聞岳へ向かう。

九州縦貫・九州自動車道から指宿スカイラインを通り、かいもん山麓ふれあい公園の開聞岳登山者用駐車場に到着。広い駐車場だが、ほぼ満車状態。大勢の人が訪れているようだ。

11:00 日帰り登山に不要な荷物を車にデポし、開聞岳登山口へ移動。公園内を通り抜け舗装道路を進む。



11:16 開聞岳登山口(二合目)から登山道へ入る。樹林の中に、火山から噴出されたような小さな軽石が敷き詰められた小道を進む。登りは歩きやすいが下りは滑りそうだ。



2.5合目、3合目、4合目と見通しの悪い樹林の中を進むと、展望が開け手すりのついた5合目に到着。ここから対岸の大隅半島や佐多岬が見えた。



開聞岳山頂へは山腹を時計回りに回り込んで上がってゆく。7合目から9合目は急な岩稜の登りとなる。9合目過ぎると傾斜が少緩み視界が開ける。





13:55 山頂に到着。独立峰でもあり360度の展望があり、北は薩摩半島指宿方面、眼下に池田湖と鰻池が眺められ、東西南側は海に囲まれ、気温がもう少し低く空気が澄んでいれば種子島や屋久島が眺められるしいが、この日は見られなかった。それでも3方が海という眺めはなかなか見られない。眺望を楽しみながら長い休憩をとった。



14:30 下山開始。登ってきた道に戻る。7合目までの岩場は慎重に下ったため問題なかったが、傾斜が緩み小石が敷き詰められた下りで油断し滑って転んでしまった。でも下りは早く、2合目まで2時間で下ってこれた。

16:50 駐車場に到着。近くの温泉(えい中央温泉センター)で汗を流し、地元(九州内チェーン)のファミレス(JOY FULL)で夕食を摂り、次の山(韓国岳)近くの道の駅(道の駅霧島)へ移動した。

コースタイム： 11:00 駐車場 ～ 11:16 2合目(開聞岳登山口) ～ 11:28 2. 5合目 ～ 12:12 5合目 ～ 13:02 8合目 ～ 13:54 開聞岳 ～ 15:18 7合目 ～ 15:53 5合目 ～ 16:37 2合目(開聞岳登山口) ～ 16:52 駐車場

## 2023/11/04(土) 曇りのち晴れ

韓国岳から福岡のTさんが合流。車が2台あるので、えびの高原側と大浪池側に配置して、えびの高原から韓国岳へ上り、大浪池を通り大浪池登山口に下るコースを計画した。大浪池側の登山口の駐車スペースは混んで遅くなると止められないということで、Tさんと6:30に合流することにした。

5:50 道の駅を出て大浪池登山口へ到着。駐車スペースはすでに満車で止める場所が無かったがTさんが早めに到着し車を止めてくれていたので助かった。予定通り大浪池側の登山口に車1台をデポし、えびの高原側駐車場へ向かう。

7:03 えびの高原登山口発。えびの高原から韓国岳までの最短コースが硫黄岳の小噴火の恐れがあるため5分ほど下りつつが丘登山口から大浪池避難小屋を経由して韓国岳へ向かう。



大浪池避難小屋までは樹林の中を進む。道はそれほど悪くはないが、あまり明瞭ではなく赤テープを頼りに避難



小屋まで進む。途中紅葉がちらほら望めた。



8:10 避難小屋着。5分ほど休憩して韓国岳へ向かう。ここまで眺望はほとんどなかったが、韓国岳へ向けて高度を上げるにつれ眺めが出てくる。しかし、生憎曇っていたため周りの山々や大浪池がよく見えなかった。



山頂まで100mぐらいのところまで、ガスが取れ雲も無くなってゆき視界が開けてきた。眼下に大浪池が見え隠れしている。



9:10 韓国岳へ到着。

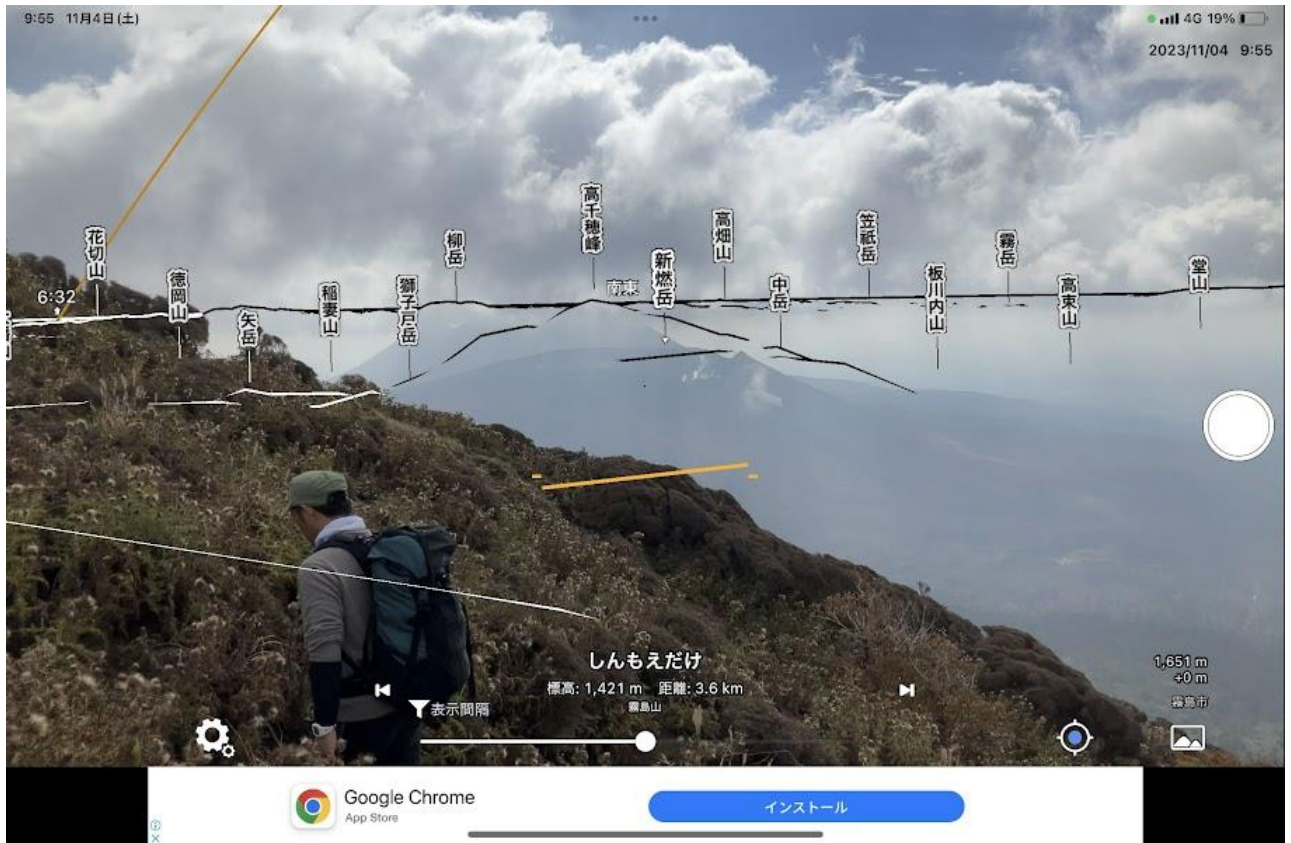


山頂に大勢の登山者が頂上火口の淵で休憩していた。大きな火口で、えびの高原側の稜線の先では活動中の硫黄岳からの噴煙がもこもこと立ち上がっている。硫黄岳も見たかったが、通行止めのため見る事ができなかった。記念写真を撮り休憩をとっていると雲が切れ大浪池がはっきりと見えてきた。



9:50 下山開始。天気も回復してきて、新燃岳も遠目だがいくつかの火口から噴煙がモコモコと上がっているのが見えた。これまでいろいろな山を見てきたがやはり火の国九州は違うなと思った。大浪池に向かって下って行くと紅葉も見えてきた。





10:32 韓国岳避難小屋に到着。ここから登山口まで大浪池を巻いて下るが、西回りの方が、アップダウンが少なそうなので西回りで下る。池の外輪まで100m程登り外輪を水平に進んでいると、所々で池を眺められる場所が出てくる。



11:22 大浪池口に到着。ここは大浪池登山口から大浪池に1時間ほど上がったところにあるため、登山者だけでなく一般の観光客も上ってきているようだ。ここで韓国岳と大浪池をバックに写真を撮る。





景色が良いのでここで休憩と思ったが、なぜか蜂が寄ってくる。仕方ないので、少し下った所にある大浪池園地休憩所で、5分ほど休憩して大浪池登山口に下山。登山道はきれいに整備されていて、一般の観光客にもものぼりやすそうだった。



12:07 大浪池登山口に到着。駐車場はまだ満車で路上駐車も増えていてまだまだこれから止めようとする車もある。デポしていた車に乗り込み、出発点のえびの高原までもどった。

えびの高原で車を回収し、霧島温泉郷の湯之谷温泉で汗を流し、明日の登山予定の阿蘇へ移動した。

コースタイム：7:03 えびの高原登山口～7:10 つつじが丘登山口～8:06 えびの分かれ～8:10 韓国岳避難小屋～9:10 韓国岳～10:32 韓国岳避難小屋～11:22 大浪池口～12:07 大浪池登山口

### 2023/11/05(日) 曇りのち晴れ

前日は「道の駅 あそ望の郷くぎの」で仮眠。朝、古坊中登山口の駐車場に移動した。駐車場は車が数台とまっているだけで、前日の韓国岳とは大違い。曇り空で風も吹いていてまた薄暗いため、少し車で待機した。

6:44 古坊中登山口の駐車場から登山を開始。



西火口までは、阿蘇山公園有料道路を通って行く。



西火口の展望路から火口をながめる。でかい！これまで見たどの火口より大きく噴煙が勢いよく吹き上げている。すごい迫力だ。



火口の淵の見学路を周り、南岳経由中岳方面へ向かう。



南岳まで火口の南側を巻いて行すが、火口と登山道の間今まで見たことのない荒涼とした砂(泥)の平原が広がる。ここが砂千里ヶ浜という所らしい。



登山道をさらに進むと南岳の岩場の急登にさしかかる。今回の九州の山行で一番きつい登りだった。





8:31 南岳山頂に到着。ガスっていて展望がないため中岳へ向かう。

8:50 中岳に到着。ガスがかかって展望が無かったが、しばらく待っていると阿蘇の西火口がガスの間から見え隠れする。きれいに晴れないので高岳に向かう。高岳に近づくにつれて風が強くなっていく。



9:21 高岳に到着。風が強くて体がもっていられそうになる。山頂から少し下ったところの岩陰で小休止。予定では高岳東峰を周り、月見小屋を経由して中岳へ戻る予定だったが、この風の中、周遊するのは大変なため、登ってきた道を中岳まで戻ることにした。



10:04 中岳に到着。ここで雲が晴れ、阿蘇西火口の展望が開けた。すごい眺めだ。西火口をバックに写真を撮り、火口東展望所に向かう。



10:44 火口東展望所に到着。阿蘇の火口がさらに近くに見える。本当にすごい眺めだ。火口の噴煙と火口取り巻く砂千里の砂の様子がまるでアルプスの氷河の様に流れているように見える。ここ以外には見ることができない景色だ。来てよかったと思った。







火口東展望所から旧仙酔峡ロープウェイの火口東駅の方へ下り、阿蘇の火口を東回りで古坊中登山口の方へ戻る登山道を使って戻る。ところどころ崩れてはいるが、舗装の跡があり、車が通っていた様な道だった。この道からは火口は見えないが、道沿いのすすきの紅葉が楽しめた。



12:00 古坊中登山口 P に到着。朝はガスっていたため気が付かなかったが、立派な神社が立っており観光のシャトルバスの乗場になっていた。ここまでバスで来て西火口は観光できるが、中岳、高岳へは観光気分では行けないところだし、苦勞して見る事ができた景色がとても素晴らしかった。



帰りにTさんお勧めの黒川温泉にゆっくりつかり、大観峰を經由し熊本市内入り、改修のためしばらく観ることができなくなるという熊本城を遠目で見て、もう1泊するT山さんが宿泊するホテルまで送った。Tさんとはここでお別れした。そして、熊本空港近くのレンタカーの営業所で車を返却し熊本空港から羽田に帰京した。

この三日間天気も良く、充実した登山ができました。ありがとうございました。

コースタイム : 6:44 古坊中登山口 P ~ 7:12 火口西 ~ 8:28 南岳 ~ 8:50 中岳 ~ 9:21 高岳 ~ 10:04 中岳 ~ 10:48 火口東展望所 ~ 11:00 旧火口東駅 ~ 12:00 古坊中登山口 P